

No.32 歴史的遺物

蔵王の町はただ温泉とスキー・リゾートだけではないのだ。蔵王中の至る所が 1900 年の歴史を有する史跡である。たとえば町の中心部近くには、長くて狭い階段の頂上に神社が集合している。石造りの灯籠がこれらの危なっかしい階段の両側に並んでおり、最近、階段を登るのに疲れた人や年配の人を力づける言葉が書かれた。

街にはたくさんの小さな石碑が見られる。新しく施設を建築するために、これらの記念碑の 5 つが同一場所に移された。これらの 1 つは湯女石、または湯女ストーンとして知られている。湯女石は、愛人と一緒に死んだ男の物語を伝えていると言われている。男の愛人は風呂の係員の湯女（当時、風呂の係員は本質的に売春婦）だった。男の妻は彼らの死に取り乱したが、弔うために湯女の石碑を建てた。

ごく最近、町の観光局は、蔵王温泉を詠った日本の伝統的な和歌を彫った石柱を建てた。これらは石柱は、はるかに古い石造りの記念碑とともに、町中で見られるようになった。これらの記念碑の中には、碑文が風化するほど長く立っているものもある